

修了式 校長講話要旨

○春到来？

今年の２月は、近年になく寒く、乾燥した時期でした。３月になると次第に温くなりましたが、「春に三日の晴れなし」というように、晴れと雨が交互に来る天候になり、先週は５月の陽気とよばれるほど暖かい日もありました。今週は一転、寒の戻りで寒くなり、天候は大荒れです。

「三寒四温」。寒くなったり、温かくなったりして次第に気温は上がり、春を迎えます。明日２０日は春分の日です。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉のように、本格的な春を迎え、桜の開花も間もなくです。

○１年を振り返って

今日は今年度２０２４年度の修了式です。今年度の学校全体としての教育活動は一区切りということになります。さて、この１年間の成果は、皆さんはどうだったでしょうか？

中学１年生は、ＨＲ合宿から始まってようやく本校の生活にも慣れてきたところでしょう。２年生はフィリピンの語学研修などで、様々な経験をすることができました。

高校１年生もＨＲ合宿や中高合同体育祭、創造祭などを通じて、大規模な本校の生活に慣れ、交友関係を広げることができたでしょう。２年生も同様ですが、グローバルコースのオーストラリア、アデレードでの２週間のホームステイ、特進コースは同じくオーストラリア、シドニーでの大学寮での研修、一貫コースはシンガポールの大学での研修、進学コースのハワイ、もしくは沖縄の修学旅行、スポーツサイエンスコースも沖縄での修学旅行でした。それぞれのコースの特性に合わせた宿泊体験を行うことができ、経験と見聞を広めることができました。この経験をそれぞれ皆さんが学び取って成長してほしいと願っています。

○卒業式の式辞から

春は旅立ち、新たな出発の時です。１日に高校の卒業式を行い５８０人が卒業していきました。また、昨日（１８日）、６６人の中学校の卒業式を行いました。このまま本校の高等学校課程に進む人が大半ですが、何人かは他の高校へ進学する人がいますので、昨日でお別れになりました。

まず、朔日の高校の卒業式の式辞では、

…ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は未だに終わらず、さらに加えてパレスチナではイスラエルとハマスとの紛争は、停戦協定は結ばれたものの、ウクライナ情勢と合わせて、アメリカのトランプ大統領の意向によってどのように収束していくか、国際情勢は不安定なままです。

フランスやドイツ、韓国の政治情勢も混乱しています。その中で欧米の主要国等においても自分の国の利益や、自国民のことのみに最優先して、国際的な協調を避けるような風潮が強くなりつつあります。ここで改めて日本国憲法の前文を読んでみましょう。（中略）日本国憲法の前文を思い返してください。…約８０年前、日本は第二次世界大戦に敗れ、その反省のもと新たな憲法を作りました。

日本国憲法の前文は理想にすぎるという批判もありますが、私達は「全力をあげてこの崇高な理想

と目的を達成する」ようにしていかなばなりません。「自国のことのみに専念」するのではなく、わが国が「国際社会において、名誉ある地位を占め」るために、理想を求めて私たちにできることは何かを考えていくことが大切です。

また、昨日の中学校の卒業式の式辞では、

…日本政府観光局によると、昨年２０２４年に日本を訪れた外国人観光客は約３６８７万人で、コロナ前に過去最高であった２０１９年の３１８８万人を約５００万人上回り、過去最高を更新したとされています。これは国の外国人観光客誘致政策と、外国為替相場での円安の影響の結果でしょう。東アジアのみならず東南アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアの他、多くの地域の人々が日本を多数訪れたようで、日本各地の観光地のみならず様々な場所で私たちも外国の人と接することになっています。また、留学や仕事で来日する人も今まで以上に増えており、否が応でも私たちは国内にあっても「国際化」せざるを得ません。

高校、及び中学校の卒業式ではまとめとして、本校で体得したグローバル教育の成果を踏まえて、地球規模で思考のできる真の国際人となってほしいと願います。と結びました。

私たちの日常生活も、現在の国際情勢と密接に関連してきます。自分自身のアンテナを張り巡らし、これからの自分の生き方、進路選択、在り様を考えていきましょう。

○来年度への展望です

昨年、２０２４年は、本校は創立６０周年を迎え、それを記念して同窓会から井上円了先生の胸像の建設寄贈をいただきました。また、数年にわたって準備を進めてきた、創立６０周年を記念するイベントとして、「第２９回全国私立大学附属・併設中学校・高等学校教育研究集会」（通称 附属校サミット）を、本校で８月の末に開催できました。この附属校サミットでは、発表の他、本校生徒も様々な形で協力してもらい、成功することができました。

遑って６月には初めて東京体育館で「中高合同体育祭」を開催しました。東京体育館での中高合同体育祭については、来年度は、様々な状況や事情を勘案したほか、６月の東京体育館の予約が取れないこともあって、見送ることになりました。そして、６月中旬に本校の施設を使ってのスポーツフェスティバルを２日間行います。もちろん東京体育館での中高体育祭の成果を踏まえて、中学生、高校生が一緒になって楽しめる行事にしたいと思っています。

６１年目となる来年度は新たな学校の取組も始める予定ですが、それは年度が明けてから紹介できると考えています。